

コミスクだより 楠見小学校

2023年 7月
(令和5年)

校長 梶本 久子

5年生が社会科と総合的な学習で「米作り」の体験をしたいという希望があり、多くの地域の方々に助けられて一歩を踏み出せました。まずは土探しからでした。

早速、地域の方々に相談し、近くの(株)三愛さんの土地の土をいただくことができ、トラックで何度も運んでもらいました。他にも地域の方々から、苗をいただいたり、肥料をいただいたりと本当にお世話になりました。

当日は保護者の方にも来ていただいて「楠見っ子の米作り」が始まりました。

今も昔も日本の主食と言えば「米」。全国の小学5年生が稲作について学習します。私たちの楠見地区でも稲作に携わっておられる方々がたくさんいらっしゃいます。どんな学習でも「教科書で学習して終わり」ではなく、子供自身が学んだ内容を体感できる瞬間が、学習の定着をうながします。今回の貴重な体験をできたのも地域の方々あってこそです。他にもたくさんのお店が見学を快く受けくださったり、見守り隊の方々ののおかげで安心して通学できたりと感謝ばかりです。

この前、学校運営協議会委員の方と話していると「小学校を支えているのは地域ですよ」と心強い言葉をいただきました。本当に楠見地区で学ぶことができる子供たちは幸せです。今後も、学校と地域が連携して、子供たちの健やかな成長を育んで参りたいと思っております。引き続き、温かいご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

